

岩手県職労

号外

昭和34年4月1日

第3種郵便物認可

定価1部2円

発行所

盛岡市内丸10番1号

岩手県庁内

No.2305

2014年

10月22日

知事あて「大型ハガキ」管理職・臨時職員等、職場内の全職員で要求を押し上げていこう！

14 確定闘争情報 - ①朝

確定闘争スタート

知事あて要求書を提出

現給保障廃止阻止 通勤手当改善等が争点

県地公共闘（議長：砂金良昭・岩教組委員長）は21日、熊谷人事課総括課長と交渉を行い、確定闘争における知事あての要求書を提出した。今確定闘争は、給料表のプラス改定及び一時金の支給月数増のほか、人事委員会が今年度末での廃止を勧告した「現給保障」の継続、通勤手当の具体的な改善等が争点となってくる。

県議会12月定例会の日程を考えると、次回31日の人事課総括課長交渉がヤマ場となることが想定されることから、地公共闘は、31日に大衆行動を配置し、総力を結集しての交渉を実施していくこととしている。

地公共闘は交渉で、①月例給・一時金の改善改定、②現給保障の継続要求、③自己負担解消のための諸手当改善（とりわけ通勤手当改善）等について、熊谷人事課総括課長に考えを質した。

熊谷総括課長は、「人勧尊重のこれまでの基本姿勢に変わらない」と回答した上で、現給保障についても「勧告を重く受け止めている」として今年度末での廃止の考えも示唆した。一方、諸手当の改善については、「ガソリン価格が高い水準であることは承知している」との見解に止まり、具体的な改善の考え方には触れなかった。

これに対し地公共闘は、「依然として高額の現給保障を受けている人もいる。当該額分の賃下げと同じであり廃止すべきでない」として、現給保障廃止の再考を求めたほか、通勤手当に関しても、次回交渉までに具体的な改善策を示すよう求めた。



熊谷人事課総括課長(右)に要請書を手渡す砂金議長(左)

大型ハガキの取り組みを、現在、分会に提起している。これは、確定闘争における要求課題に一人ひとりが署名して知事に提出するもので、当局に対する要求の重みを示すバロメーターとなる。管理職・臨時職員等、職場内の全職員の署名に取り組もう！

各都道府県人勸 給与制度の総合的見直し 「報告」は5県のみ

各都道府県人事委員会勧告がほぼ出揃った。21日時点で43都道府県の人勸が行われたが、そのうち、「給与制度の総合的見直し」を勧告させず、「報告」に止めさせることができたのは、当県を含む5県（岩手・秋田・群馬・高知・熊本）のみとなっている。

総合的見直しは、民間給与の全国平均額と下位12県の平均額に約2%の差があるとして、来年4月からの給与を引き下げようとするもので、地公共闘は、「較差によらない給与削減提案であり、人勸制度と矛盾する制度は認められない」「そもそも人事院勧告による国家公務員の官民比較額（約40万円）と岩手県職員の公民比較額（約37万円）は既に2%以上の差がある。引き下げの理由は見当たらない」などと人事委員会当局を迫りながら、勧告阻止の取り組みを強めてきた。国に追随する形で全国の大半の都道府県が「勧告」に踏み切った実態をみると、本県が「報告」に止めることができたことは、極めて大きな成果だったと言える。

一方で政府は、7日、「国家公務員における給与制度の総合的見直しを踏まえ、地方公務員についても、（中略）適切に見直しを行うよう要請するものとする」との内容を閣議決定し、同日付の総務副大臣通知の中でも「地方公共団体においても、国における見直しの実施時期を念頭に、（中略）適切に見直しを行うこと」と、地方への国追随を要請する不当な圧力がかけられている。

私たちの労働基本権たる勧告制度すら、政府の「命令」の形で支配しようとする安倍政権の強引な手法がとられる中であっては、本県では県人勸で「報告」に止めることができたものの、21日の交渉でも「人事委員会は報告だったが、他県等の状況を見ると難しい判断だ」との見解を述べており、県当局が政府の圧力に屈する形で導入を提案してくることも懸念される。あらためて全組合員が一体となって、導入阻止に総力を挙げよう。

県職労スポーツ祭典 参加者募集中！

現在県職労では、来月15日～16日の日程で開催する県職労スポーツ祭典の参加者を募集している。早期復興にむけ連日奮闘している仕事の疲れを癒し、県内の仲間と一緒に汗を流し、酒を呑み交わし、語り合いつつ、自らの活力を養い、安心して働ける職場実現に向けた団結を高めよう。

と き	11/15(土) 11:00 ~ 16(日) 10:30
内 容	◇臨床心理士「藤井由里」さんの講演 ◇県職労バンドの演奏 ◇ドッチビー ◇ミニゲーム・クイズ
と ころ	雫石町営体育館 & 清温荘
未加入者にも声をかけ、みんなで参加しよう！	

遠野市議会議員選挙 が19日に告示され、県職労推薦候補者の**「菊池充」**さんも元気に第一声を行った。定数18に対し19人が立候補する少数大激戦の厳しい情勢となっている。知人友人等への積極的な声掛けをよろしくお願いします。